

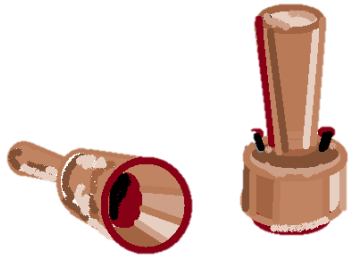
# でんわき たんじょう 電話機の誕生

メウッチ (1808-1889)



はつめいしゃ

発明者は、ベルではなかった？！



メウッチが<sup>はつめい</sup>発明した<sup>でんわき</sup>電話機



アントニオ・メウッチ

わたしは、<sup>つま</sup>妻の  
ことが<sup>しんぱい</sup>心配だっ  
たのです。

## たんじょうものがたり 誕生物語

<sup>でんわき</sup>電話機の<sup>はつめいしゃ</sup>発明者は「ベル」だといわれていたが、

2002年、<sup>あめりか</sup>アメリカ合衆国議会は、「ベルより先にメウッチが<sup>でんわき</sup>電話機を<sup>はつめい</sup>発明していた」と認めました。<sup>でんわ</sup>電話の<sup>はつめいしゃ</sup>発明者は、イタリア生まれのメウッチ。移住先のアメリカで1854年に<sup>でんわき</sup>電話機の<sup>し</sup>試作品を<sup>かんせい</sup>完成させていました。彼の<sup>か</sup>事務所と<sup>しんしつ</sup>寝室にいる<sup>じゅうびょう</sup>重病の<sup>つま</sup>妻と<sup>かいわ</sup>会話をしたくて<sup>はつめい</sup>発明したそうです。けれども、1871年に<sup>ねん</sup>仮の特許を<sup>しゅとく</sup>取得したものの、<sup>まず</sup>貧しく<sup>かね</sup>お金が<sup>た</sup>足りなくて、<sup>こうしん</sup>更新できず<sup>けんり</sup>権利を<sup>うしな</sup>失ってしまいました。

**ひげき 悲劇が3つ？** 一方、メウッチと同じ<sup>おな</sup>研究室に通っていたベルは、1876年2月14日にワシントンの<sup>あめりか</sup>アメリカ<sup>とっきよしょうひょうちょう</sup>特許商標庁で<sup>でんわ</sup>電話の特許を<sup>とっきよ</sup>出願し、その後<sup>ご</sup>に<sup>みと</sup>認められました。ベルよりも先に<sup>さき</sup>特許申請していた<sup>はつめいおう</sup>発明王エジソンは、<sup>とっきよしんせいしよ</sup>特許申請書の<sup>しよるい</sup>書類の<sup>ふ</sup>不備で、<sup>でんわ</sup>グレイも<sup>はつめい</sup>電話を<sup>とっきよ</sup>発明し<sup>しゅつがん</sup>特許を出願したのはベルより2<sup>じかん</sup>時間ほど<sup>あと</sup>後だったので、<sup>でんわ</sup>電話の特許は<sup>とっきよ</sup>先に<sup>さき</sup>出したベルのものになりました。

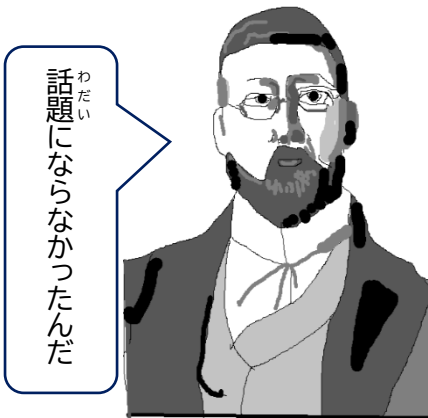
<sup>でんわ</sup>電話の<sup>はつめい</sup>発明は、「<sup>ひと</sup>人と<sup>ひと</sup>人を<sup>むす</sup>結ぶ<sup>きより</sup>距離」を<sup>げきてき</sup>劇的に<sup>ちぢ</sup>縮めた  
<sup>ぎじゅつかくしん</sup>技術革新のひとつとなった。



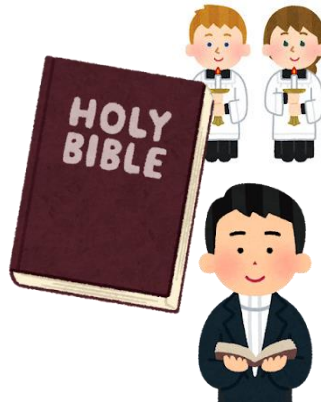
# ラジオの誕生 フェッセンデン (1866- 1932)



さいしょ ほうそう  
最初のラジオ放送はクリスマスイブ！



レジナルド・フェッセンデン



聖書の朗読



## 誕生日ものがたり 誕生物語

ねん がつ か おんせいむせんつうしん じっけん せいこう  
1906年12月24日に、音声無線通信の実験を成功さ

せたフェッセンデンが、マサチューセッツ州にある自宅から「世界初のラジオ放送」を流しました。クリスマスのメッセージやレコード音楽、聖書を朗読したものでした。当時ラジオの受信機は一般家庭になく、ラジオ放送を最初に聞いたのは船の無線を操作する通信士だったそうです。今までモールス信号のような単調な音だけを聞いていた通信士たちは、とても驚いたそうです。

## 心の支えに

ねん がつ にち ひがしにほんだいしんさい おお ちいき ていでん  
2011年3月11日の東日本大震災では、多くの地域が停電

し、テレビや携帯電話、インターネットが使えなくなった中で、ラジオだけが情報を受信できる唯一の手段でした。岩手県のIBC岩手放送や宮城県の地域FM局などは、停電の中でも仮設スタジオを設けて放送を続け、被災者にとってラジオが唯一のつながりとして人々の心の支えになったのです。

「その時、ラジオだけが聞こえていた」

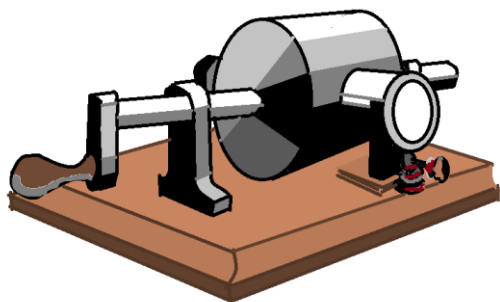
ラジオは、災害時の被災者の心の支えとなっていた。



# ちくおんき たんじょう 蓄音機の誕生 エジソン (1847- 1931)



じんるいさいこ ろくおん  
人類最古の録音をしちゃった！



すずはくえんとうしきちくおんき  
錫箔円筒式蓄音機



トーマス・アルバ・エジソン

き  
気づきは、  
はつめい もと  
発明の元！  
じつげん  
実現には、  
しゅうねん  
執念です！

## たんじょうものがたり 誕生物語

ねん がつ にち けんきゅうしつ  
1877年12月6日、アメリカのメンロパークの研究室

けんきゅういん あつ  
で、研究員たちを集めたエジソンは、ハンドルをつかんで錫箔した円筒を  
まわ きかい む  
回しながら、機械に向かって「メーリさんのひつじ…。」と、歌いたかったのですが、  
うた へ た かし ろうどく つつ もと いち  
エジソンは歌が下手だったので、歌詞を朗読しました。そして、筒を元の位置にもど  
ふたた まわ はじ ざつおん  
し、再びハンドルを回し始めました。すると「メーリさんのひつじ…」と、雑音がまじ  
りながらもエジソンの声が聞こえてきました。驚いて声も出ない研究員でしたが、  
かんせい あ  
やがて歓声が上がりました。



## 気づき

じつ 実際は、エジソンはパラフィン紙の中心にペン先を取り付け、しゃべり  
した お かみ うえ すべ もよう はつけん  
ながら下へ置いた紙の上を滑らせると、ギザギザの模様がつくことを発見。これが  
じばん こえ うつ ちよつかん かれ すずはく ま つ えんとう うえ はり みぞ  
自分の声を写したものだとは直感した彼は、錫箔を巻き付けた円筒の上に針で溝を  
きざ つ みぞ しんどう よ と おと さいせい ちくおんき はつめい  
刻み付け、溝の振動を読み取って音が再生される蓄音機を発明したのです。

ちくおんき おんがく こえ み にちじょう か  
蓄音機は、「音楽と声に満ちた日常」へと変え、

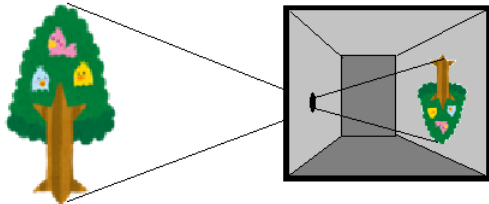
げんだい おんがくぶんか しゃかい きばん きず  
現代の音楽文化やメディア社会の基盤を築きました。



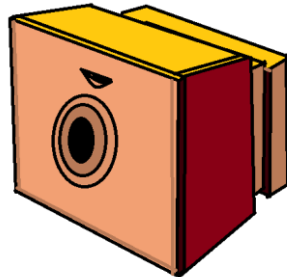
# たんじょう カメラの誕生 ニエプス (1765- 1833)



げんり  
原理はわかっていたが、記録する技術が？



ピンホールカメラのしくみ



ニエプスが使用した  
カメラ・オブスキュラ



ジョセフ・ニセフォル・ニエプス

いやあ！  
時間がかか  
ってしまい  
ました。

## たんじょうものがたり 誕生物語

1826年、フランスの発明家ニエプスは、カメラ・オブス

キュラを改良し、光に当たると固くなるアスファルトの性質を利用すれば、風景の  
画像を定着できるはずと考え、アスファルトを感光材として、およそ8時間もかけ  
て、自分の家から見える風景を撮影しました。これが現存する世界で最初に撮影さ  
れた写真の一つとなりました。

## ながい歴史があった

カメラのはじまりは、紀元前に「カメラ・オブスキュラ  
(部屋・暗い)」と呼ばれたもので、四角い部屋の壁にひとつ小さな穴を開け、この穴  
から入った光が反対側の壁に届くと、外の景色が逆さまに映し出されるだけのもの  
でした。16世紀には、フランスの画家たちは、「カメラ・オブスキュラ」を、カメラと  
してではなく紙に映った像を鉛筆でトレースするために使用していました。

画像を記録する技術がなかなか発明されなかったのです。

カメラが普及することで、社会の情報伝達や  
コミュニケーションのあり方が変革しました。



# スマートフォンの誕生 たんじょう スティーブ・ジョブズ (1955- 2011)

でんわき 電話機からパーソナルコンピューターへ！ 



アップルがやらないと、どこもやらない。だから僕はここにいるのだ。

## たんじょうものがたり 誕生物語

おこな おおさわ しゃ  
で行われた大騒ぎのプレスイベントで、アップル社の  
スティーブ・ジョブズがステージに立って、iPhoneという画期的な製品を発表しました。iPhoneはコンピューターであると同時にカメラ機能やGPS端末、音楽プレイヤー、お財布、生活においての様々なツールの役目を果たすようになりました。いつしか全て1台で完結するiPhoneが誕生したのです。

しょだい アイフォン  
この初代iPhoneは、スマートフォンの歴史を“再定義”した瞬間でした。

みらい  
未来のスマートフォンは、どんな姿をしているのでしょうか



もじ はつめい じょうほうかくめい ひょう  
スマートフォンは、文字の発明以来の情報革命とも評される  
ほど、人々の生活を根本的に変えてしまいました！

